

高等技術専門校評価システム<評価表>

川越高等技術専門校 木工工芸科

評価項目				評価課題	コメント	
大項目	中項目	小項目	指標			
求 職 者 訓 練	1 訓練内容 必要な技能・知識を習得させるための訓練内容が設定され、実施されている	(1)生活指導 あいさつができる、遅刻・欠席が少ないなど、生活指導が適切である	出席率 90%以上	(a) b c 出席率平均99.0%	○技能習得の過程において、職業人としての基礎を身に付けることを目標としている。訓練内容面では、「道具の扱い」「木の加工」という基本作業の習得に努めている。○引き続き満足度を高める取組をしていきたい。	
		(2)訓練生満足度 訓練内容に対し、訓練生の満足度が高い	満足度 90%以上	(a) b c 満足度平均100%		
	2 応募・合格・入校状況 入校者が定員を充足している	(1)応募状況 応募倍率が1.25倍以上である	応募倍率 1.25倍以上	a b (c) 応募倍率0.77倍		○昨年度までは定員を充足していたが、今年度は応募者が大きく減少した。訓練の成果物を活用した募集広報により応募者拡大を目指す。 ○実習環境を整備し、イメージアップを図ることで、女性の応募者増につなげる。
		(2)入校状況 入校者が定員を充足している	入校率 100%	a b (c) 入校率66.7%		
	3 就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と連携を図り、雇用情勢の情報収集や訓練生に対する相談、指導等の就職支援がなされている	(1)就職状況(確定値) 就職率が100%である	就職率 100%	(a) b c 就職率100%	○就職活動を早めに進めるように指導して意識を高めた。 ○中高年の関連就職は厳しい状況にある。	
		(2)就職状況(追指導最終値) 就職率が100%である ※ 前年度修了者	就職率 100%	(a) b c 就職率100%		
		(3)就職状況 訓練関連率(訓練を活かした就労率)が80%以上である	関連就職率 80%以上	a (b) c 関連就職率64.0%		
	4 資格取得状況 訓練科ごとに適切な資格取得目標が掲げられ、資格が取得されている	資格取得状況 訓練科ごとに適正資格取得目標が掲げられ、資格が取得されている	合格率 全国平均以上	a b c 評価なし	○取得可能な資格はない。	

a:優れている b:良好である c:改善を要する

総合評価

A:優れている B:良好である C:一部改善を要する D:総合的な見直しを要する

a評価が4項目であるため、総合評価はBとする。  
出席率、満足度がa評価に対して、応募倍率がc評価については、木工工芸科の魅力が十分に募集へとつながっていないと言える。また、就職状況はa評価にも関わらず関連就職率がb評価になっている点については、木工関連企業からの求人が少なく、とりわけ中高年世代の訓練生と企業の求人がマッチングしていないと考えられる。今後は、求人開拓を強化すると共にきめ細やかな就職指導を実施していく。  
訓練内容としては、基礎技能の習得が目標ではあるが、後半の家具製作において、訓練生個々の興味・志望や就職先に対応した課題を設定して訓練生のニーズに応えている。地域へのPRと、作品を通じた使い手との繋がりを訓練生に自覚させることを目的に訓練生が製作した作品の展示即売会を開催している。